

バイオリジカルインジケータ(BI)

(低温蒸気ホルムアルデヒド滅菌用)

《使用説明書》

保管上のご注意

- ・ 2~25℃、RH 20%~80%で遮光保管してください。
- ・ 滅菌器や殺菌消毒剤から離れた場所に保管してください。

使用前のご注意

- ・ 有効期限をご確認ください。
- ・ 本品の完全性をご確認ください。
- ・ キャップの窓にテープやラベルを貼らないでください。
- ・ 滅菌前にキャップを押し込まないでください。
- ・ 冷蔵保存の場合、室温になってからご使用ください。

廃棄の際のご注意

- ・ 滅菌不十分と判定された使用済み及び期限切れの本品は、必ず滅菌処理(121℃、30分)を行った後廃棄してください。

使用方法

- 1 写真のようにキャップにある窓が完全に開いていることを確認し、ラベルの空白箇所に滅菌管理上の必要事項(例:実施日時・箇所等)を油性ペンで記入し、BI を適切なパックに入れ、滅菌器の中で最も蒸気やガスが達しにくい箇所に置いて、滅菌処理を行ってください。

注意: BI の上に被滅菌物が重ならないようにしてください。

- 2 滅菌処理後直ちに滅菌器から取り出し、ラベルのケミカルインジケータが赤色から黄色に変色していることを確認し、滅菌袋を開けずにキャップをきちんと押し込んで閉めてください。

- 3 十分放熱させた BI を写真のようにクラッシャーにセットし、アンプルを割ってください。キャリアーが培地の中に完全に浸漬していることを確認してください。



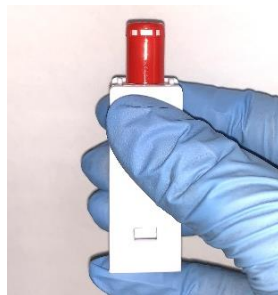
注意: 絶対にアンプルを手で割らないでください。作業時は傷つけないように必ず保護メガネ・マスク・手袋を着用してください。

- 4 アンプルを割った後、BI を垂直に保ったままインキュベーターに入れ、55~60℃で24時間、48時間或は7日間培養してください。

- 5 陽性コントロール: 滅菌処理をしていない BI のキャップを閉め、アンプルを割ってから同様にインキュベーターにて培養します。陽性コントロールは、使用毎に行ってください。

- 6 48時間以上の培養を行う場合、培地の蒸発を防ぐためにパラフィルムを使い、キャップ全体を密封してください。

注意: 培養の際、必ず BI を立たせた状態で培養してください。



結果判定

陰性

培地の色は紫色から変化なし → 滅菌完全

陽性

陽性コントロールのように、培地の色変化あり(紫色から黄色) ⇒ 滅菌不完全

陽性になる原因として次の3つが考えられる。

- ①被滅菌物による影響
- ②BIの培養手技の問題
- ③滅菌器本体の問題



FUKUZAWA®

製造者

上海福沢医薬器材有限公司

http://www.fzme.com

発売者

福沢商事株式会社

〒233-0013 横浜市港南区丸山台 2-36-30

TEL:045-845-2699 FAX:045-845-2889